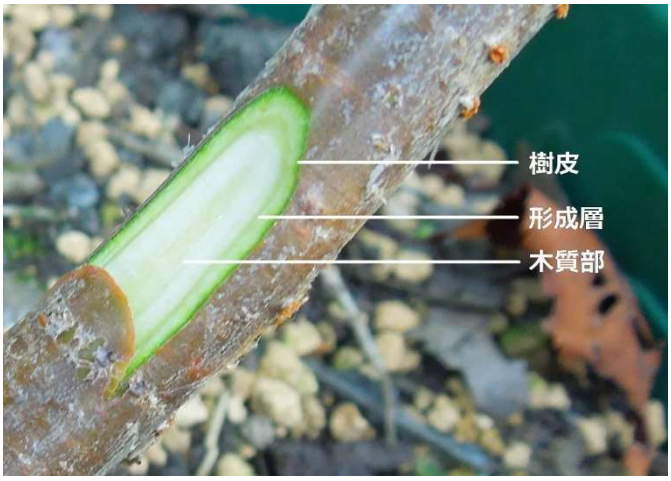
くり接ぎ木講習会資料
令 和 7 年 5 月 2 日
奥能登農林総合事務所

くりの接ぎ木について

１．接ぎ木の時期

樹皮が形成層の部分まで剥ぐことができるようになってからであるが、大体４月下旬から５月上中旬に行うことが多い。ただ穂木の芽が発芽していないのであれば、それ以降でも可能。



２．接ぎ木の手順

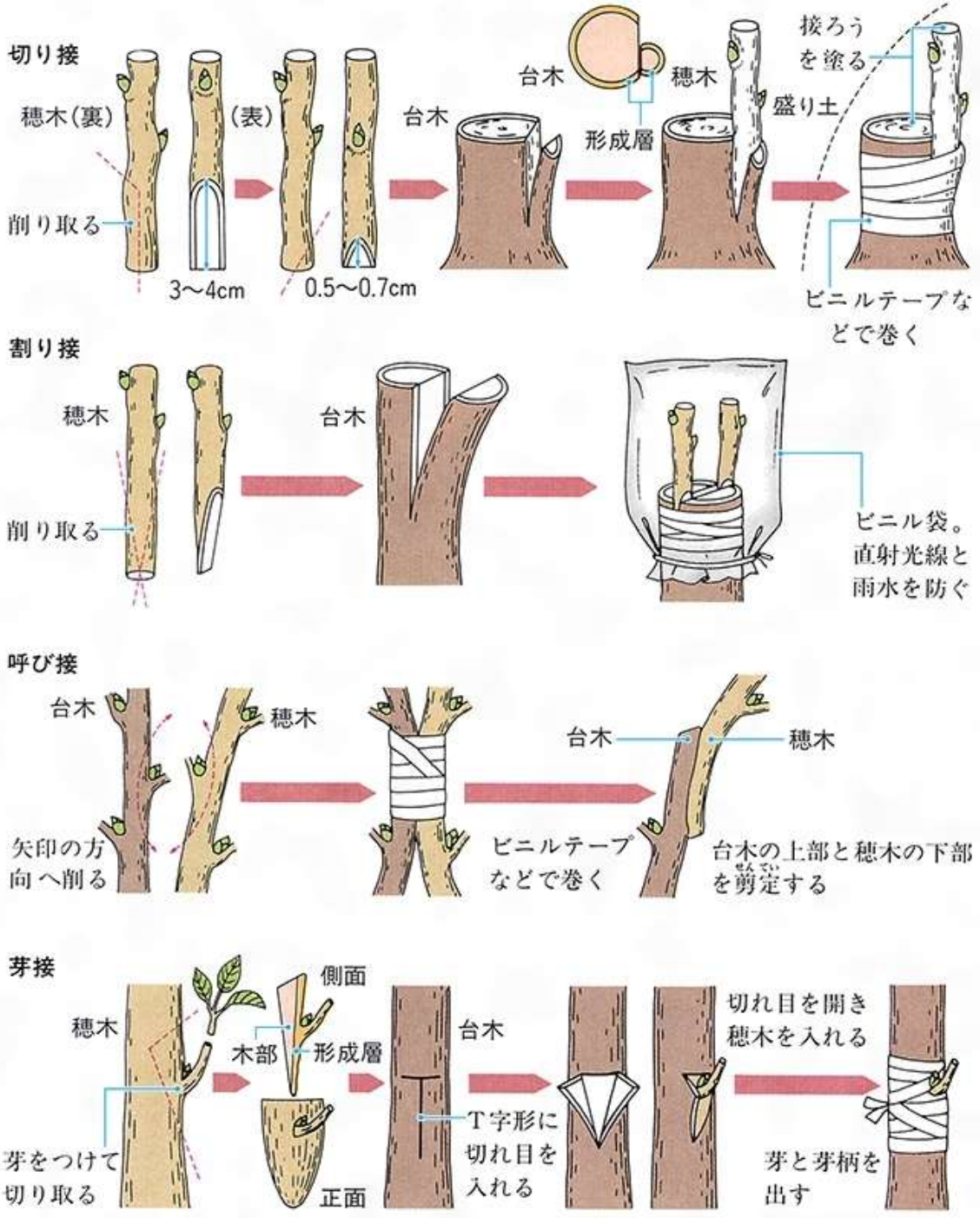
接ぎ木の方法は、次ページに書かれている方法があるが、主なものとして「切り継ぎ」、「割り接ぎ」がある。

【穂木の確保と準備】

①接ぎ木する年の３月初めまでに、穂木を確保し冷蔵庫の奥のように温度変化が少ない場所に保管する。剪定のときに行うのがよい。

②保管時は新聞紙（できれば濡れた新聞紙）でくるんだものを、黒いビニール袋に入れて空気が入らないように縛っておく。

【接ぎ木のやり方】


切り接
穂木(裏)
(表)
削り取る
3～4cm
0.5～0.7cm
台木
台木
穂木
形成層
盛り土
接ろうを塗る
ビニルテープなどで巻く
割り接
穂木
削り取る
台木
ビニル袋。直射光線と雨水を防ぐ
呼び接
台木
穂木
矢印の方向へ削る
ビニルテープなどで巻く
台木
穂木
台木の上部と穂木の下部を剪定する
芽接
穂木
芽をつけて切り取る
側面
木部
形成層
正面
台木
T字形に切れ目を入れる
切れ目を開き穂木を入れる
芽と芽柄を出す